

先輩を思っ
て自慰しちやう

後輩の小話

¥18





残りの学校生活を
過ごすとなると
寂しく感じる事も
あります

ひっ

先輩、どの
高校行ったんだろ…

卒業後は
それぞれ違う道を
歩むという事を…



先輩が卒業して
島を離れてから
半年が経ちました



私、白浜涼羽は
中学3年生に
進級し

進路という
これから大事な
時期に入ります



教えてくれたら
目指せたのに…

はー…

学校生活で
忙しいのかなあ…



しかし先輩は



帰省する事になったら
また連絡するね



残りの学校生活、
楽しんでね!



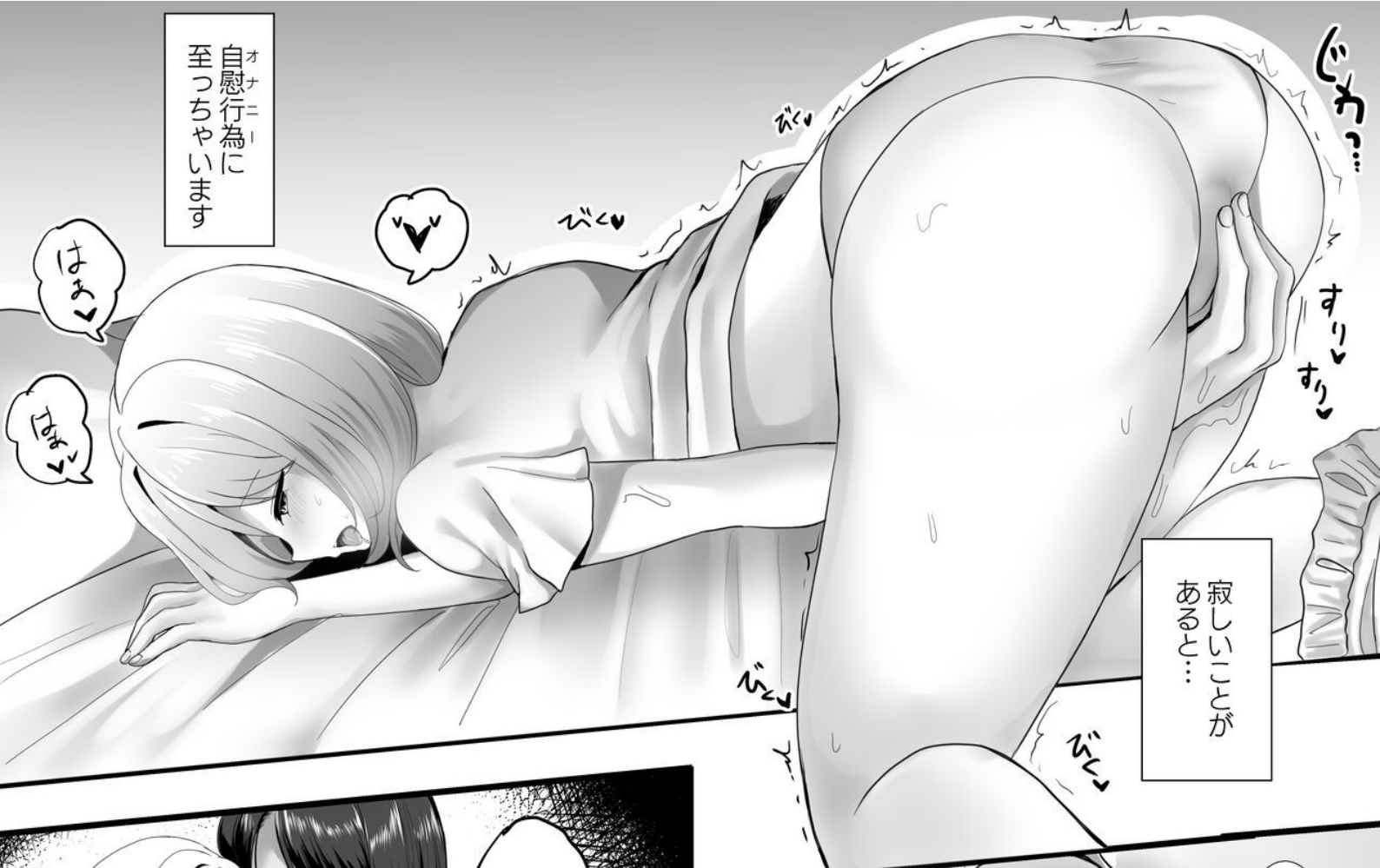
先輩こそ、新しい
高校生活を送って
くださいね!

進学先の高校を
私には教えて
くれませんでした



なんだか

虚しさで
たまらない

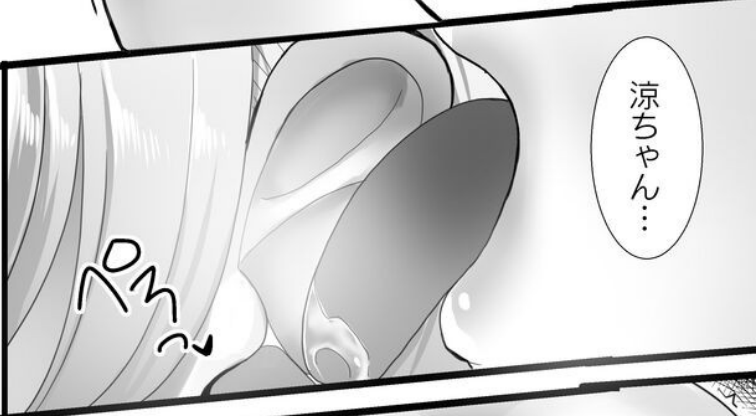


オナニーに自慰行為に至っちゃいます

はあ

びく

寂しいことがあつ...



涼ちゃん...

ん



あつ、濡れてるよ...

いつも傍らに先輩が居てもおかしくない位に...

はー

はー

ぬちやく

ぬちやく



脳内で先輩の音が過る

あつ

あつ

近くに居るような幻覚を見てしまう

私を求めてるのね？





志奈子っ

先輩い...♡

カク

カク

ヒッヒッ

カク



ヒッヒッ

涼ちゃんのナカ、凄かったよ...♡

ヒッヒッ

ヒッヒッ

カク

カク

ヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッ

カク



志奈子「す、涼ちゃん……？」

涼羽「私に隠れて他の同級生と
仲良くしてたら許しませんよっ」

志奈子「大丈夫よ、あの人達とは
特別仲いいわけでも無いんだから……」